

科目名	発達心理学（講義）		担当教員	久保 瑤子			
			担当形態	単独			
テキスト	「発達心理学の最先端 認知と社会化の発達科学」 あいり出版	単位数 授業形態	2単位	講義	開講時期	前期	
<p><b>講義概要</b></p> <p>■到達目標 生涯発達の観点から、胎児期～老年期の発達の特徴を理解した上で、子どもの発達と保育実践に関わる基本的知識を習得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯発達という考え方を理解し説明できる。</li> <li>・各時期の発達の特徴を理解し、自分の言葉で説明できる。</li> <li>・特に、発達初期（乳児期・幼児期）の経験の大切さを説明できる。</li> </ul> <p>■授業の概要 人の受精・誕生から、死に至るまでの発達の変化について、知見に基づき解説する。 また、人の発達をより良く理解するためのワークや話し合いを行う。 自らも発達の過程の中にいることを理解した上で、自分の経験とすり合わせながら参加すること。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション 発達とは：発達のイメージ 第2回 発達観、遺伝と環境、発達の研究法 第3回 発達心理学の理論 第4回 胎児期 第5回 乳児期 身体・神経系と認知の発達 第6回 乳児期 社会化 第7回 幼児期 身体・神経系の発達と言語の発達 第8回 幼児期 認知の発達と遊び 第9回 幼児期 社会化 第10回 児童期 認知発達と学校教育 第11回 青年期 身体発達と認知発達 第12回 成人期 身体発達と認知発達 第13回 老年期 身体発達と認知発達/全体のまとめ 第14回 まとめ 期末試験 第15回 期末試験解説：全体のふりかえり</p> <p>■準備学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の該当部分を読み、自らの経験と関連づけて理解しておくこと。</li> <li>・授業のポイントを復習し、理解しておくこと。</li> <li>・授業で課された自己学習を行うこと。</li> </ul> <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の意見等 — 30%</li> <li>・期末試験 — 70%</li> </ul>							
参考文献	保育の心理学Ⅰ 萌文書林		特記事項	特になし。			
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状必修 保育士資格必修		幼	教職に関する科目			
			保	保育の対象の理解に関する科目			